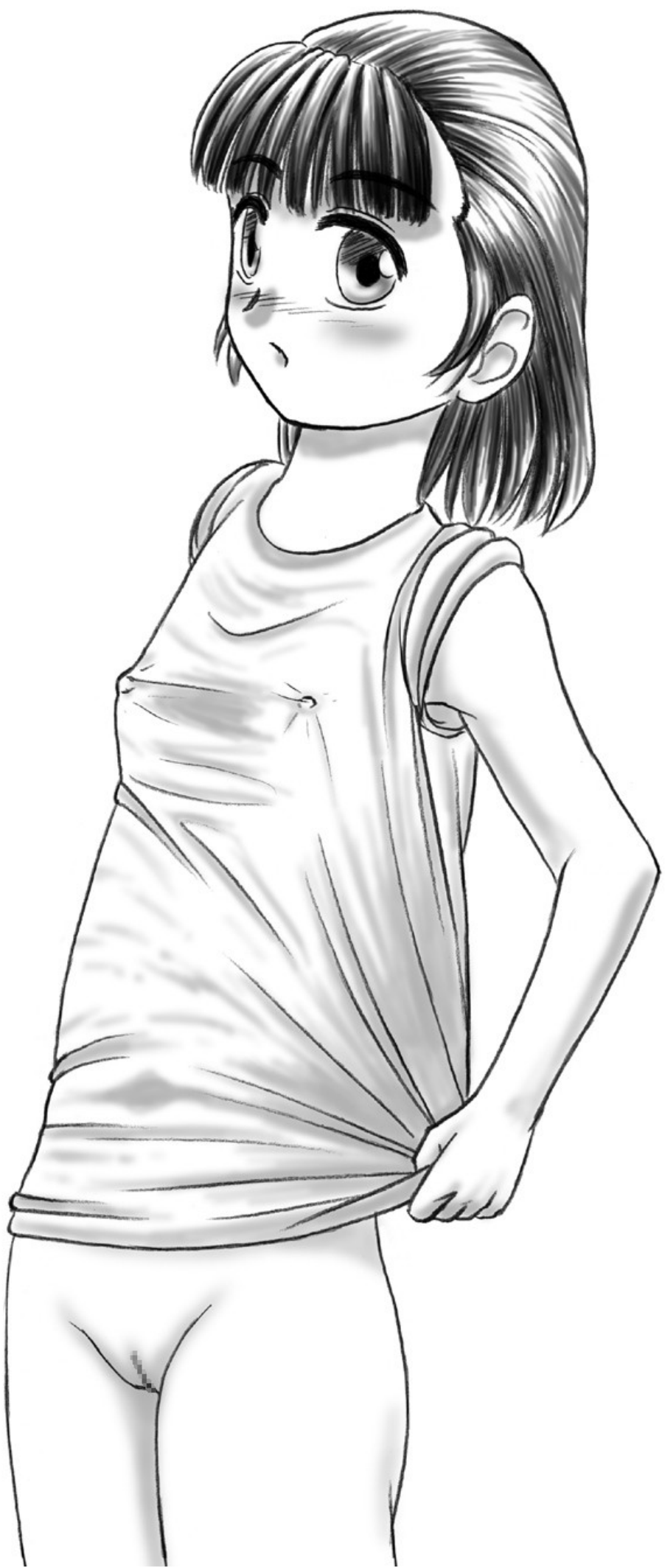


BLACK LOLITA



3145x 1011A





「ほら、しっかり銜えろ」

「ん、ぶうッ——」

「腰振れよ」

「いい加減慣れろよな、てめえ。」

「またブン殴られてえか？」

「んッ、ん——」

「まーまー、顔殴るとバレるだろ。」

「どーせビデオも写真もあるし」

「まーそーだな。」

「ゆっくり仕込むとするか——」

「っと——飲めよっ……!!」

「んんッッ——」



「ひあッッ、や、やだっ……!!」
「ほらほらそんなこと言っても、
おまんこはきゅきゅっという具合に
締めてくるぞー」
「や、だ——やめ、て、え……ッッ!!」
「だーめだめ。真由ちゃんの方だよ、
こうなりたいて言っただよ」
「ひうっ、こ、こんなの、違う、もんっ……!!」
「そうは言ってもね、もう遅いから。
ほら、下見てごらん」
「……!!」
「これが今から真由ちゃんのここに」
「いうっ——」
「入るんだからね。ちゃんと準備しなくちゃ」
「や、む、無理だよ、そんなの、お——」
「無理でもね、入れちゃうんだよね」
「痛いかもしれないけど、我慢するんだよ♪」
「い、やだ、助けて、ママ、あっ……!!」



「——由乃、どうだ？ 気持ちいいか？」
「あっ、は、いっ——んッ……」
「そうか、先生も、な、すごく、いいぞ——」
「どうだ？ ほら、子宮が、
押し上げ、られてる、だろ——」
「まだ、全部、入らない、からな——
もっと、奥まで、入れば、
もっと、気持ち良く、なれるぞ——」
「んっ、はい、せんせ、え——」
「もっ、と、奥まで、入れて、くださいっ——」
「いい子、だっ、由乃——もっと、奥まで、
突っ込んでやるから、なっ——!!」



「いぐっ、い、いだッ、いっ……!!」

「痛い? 痛いだろーねえ。血ィ出てるし。ロストバージンおめでとー」

「もお、やめて、よお……っ!!」

「何言ってるの。まだ一回目じゃん。これから俺ら交代でやるんだから、5回や6回じゃ終わらないからな」

「や、やだ、もう、やめて……ツツ!!」

「あー、気っ持ちええー。処女のロリまんこサイコー」

「おーい、まだかー。疲れんだよこれ」

「もーちょっとな。もうちょっとで出るからー」

「やっ、だめ、中出しちゃー!!」

「お? もう生理きてんのか。最近のガキは早いなあー。大丈夫、しっかりまんこの奥に出しといてあげるからー」

「いや、いやだッ、離してッ……!!」

「赤ちゃん、出来ちゃ、うよツツ……!!」



「ひぐッ、あッ——ああああッ!!」

「よーしよし、入ったぞー」

「んんッ……!!」

「しかし奈央は変態だなア……まんこよりお尻の方がいいなんてなア」

「ら、らって、おまんこ、痛いんら、もんっ……!」

「それでもHはしたい、と……だからって、これは広げすぎだぞ」

「だ、ってえっ、お兄、ちゃんっ、広げ、て、ない、と、裂けちゃ、うって……!」

「そうはいったけど、ここまでしないでいいんだけどな。」

「まあ、ここまで広げとけばいろいろ出来るからいいか」

「いっ、いろいろ、って——何、するの……ッ?」

「それはお楽しみ。さ、まずは俺のちんぽから入れてやるからなー」

「う、んっ——ちんぽ、入れて、えッ……!」

「どうだ？ 凜——二つの穴に同時に突っ込まれた気分は」
「…………ツ…………」

「声にならない、か……それもそうだな。
だが、驚いたのは俺の方だ。お前がその歳で、
もう男を知っていたってことがな。
相手は誰だ？ 同じ学校の盛りのついたガキか？
それともちょっとカッコいい先輩とかか？
まさか、教師ってことはないよな？
……まあいい。誰が初めての相手だろうが、
今日限りそいつとも二度と会えないんだからな」
「——それって……どういう意味？」
「お前は俺のものになるんだ。ペット、奴隷、
何と言い換えてもいいがな」
「い……いや、そんなの……!」
「選択権はお前にはないんだよ。
さ、これから長い共同生活が始まるんだ、
昔のことは忘れような」
「……………!!」



んふ……どう? よってたかって、あたし一人を
犯しまくった感想は♪

ほら、見て——おまんこからお尻からも、
みんなの出した精子が
だぶだぶ出てきちゃってるよ♪
まだ一巡しただけなのに、
もうあたしのお腹
たぷんたぷんで一杯って感じ♪

でもまだ、あたしってばやっとなってきたところなのよね♪
二巡目、イケるでしょ?

休んでないで、次、さっさと来てよ♪
あたし生理まだないんだから、妊娠なんて気にせずに、
どんどん出しまくっていいんだよ♪



んふ……どう? よってたかって、あたし一人を
犯しまくった感想は♪

ほら、見て——おまんこからお尻からも、
みんなの出した精子が
だふだふ出てきちゃってるよ♪
まだ一巡しただけなのに、
もうあたしのお腹
たふんたふんで一杯って感じ♪

でもまだ、あたしってばやっとなってきたところなのよね♪
二巡目、イケるでしょ?

休んでないで、次、さっさと来てよ♪
あたし生理まだないんだから、妊娠なんて気にせずに、
どんどん出しまくっていーんだよ♪



どーも、Nighthawkですー。

……まあ、言い訳はすまい。
そんなこんなで、レヴォなのにコピー本です。
なんでやねん、てのは俺が言いたい。なんでやねん。
いや、コピー本出すこと自体は悪くはない。
問題は、それしか出せてないってことで……(鬱

なんと申しましょうか、春はダメ。やる気失せ之介。頭が棒。
鼻炎も出るし、集中力もローレベルのまま。
それならいっそ寒いとか暑い方がマシ。いや、暑いのはダメだ。マシンが持たん。
秋口が一番いいねえ……お前、これから暑くなるんだよ。

CG集をやろうと思い、アイディア出しを始めたのは1月。
気が付けばもう3月のサンクリが終わり、4月に入ろうとしていた。
そこから少しずつ原画は上げてはいたものの、2・3日で一枚ぐらいしか上がらない。
やっと少し絞り汁が出たのが、4月も半ば。
そこから原画ラフがとりあえず上がるまで一週間、気が付けば十日切ってる……
原画を仕上げる過程で、ラフを足して原画が増える……バカですか？
最初は16枚予定が、なんだか20枚越えてますよ？
で、原画スキャンが終わった時点で、もうあきまへん。あと5日。
原画の線修正を急いで行ったものの、残り4日切る……
……もう、だめば……。

カンカンカン……無情の10カウントゴング。もしくは3カウントフォール負け。

今回は、この時点で方向転換しました。
まあいつものことなんです、コピー誌は残り三日とか二日の時点で手を出したり
するものなので……ってそれでええんか？
以前のように、ギリギリまで粘って半端モノを出し、アップデートするとかいう
荒業はいくない(汁)と思いまして、完成品にしてから出そうと。
なんだかんだと、追加品を出さねばならない労苦もなくなりますね……

そーゆーわけで、今回はまたこれです。

前回「皆三毛」で、ごく一部の方々から「ネコミミかよ!」とか色々
ツッコまれましたが、ネコミミは気の迷いですw
しかしキチロリが普通ってどーゆーことよ。

……いつもそうだから、普通なのか……

……人として、どうなのかなあ……

まあ、それでもまたやるんですけどねw

発行:Nighthawk Project / Nighthawk
発行日:2004.4.29(Comic Revolution 35 / 東京ビッグサイト)
Homepage-URL:<http://www.fuki.sakura.ne.jp/~npcw/>
e-mail:nighthawk@dream.com

次の新作の原画とか。



「夏実の夏」ってゆータイトルを
勢いでつけてしまいました。





Nighthawk Project 2004